

Chiba Weekly Report

2022

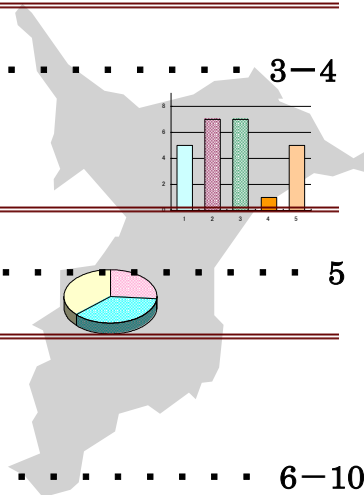
— 第14週 — 2022/4/4~2022/4/10

千葉県結核・感染症週報

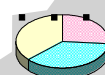
千葉県感染症天気図 2

今週の注目疾患 3-4

E型肝炎



全数報告疾患集計表 5



定点報告（五類感染症）

疾病別グラフ 6-10

〈男女合計〉

RSウイルス感染症・咽頭結膜熱・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎・感染性胃腸炎・
水痘・手足口病・伝染性紅斑・突発性発しん・ヘルパンギーナ・
流行性耳下腺炎・インフルエンザ・急性出血性結膜炎・流行性角結膜炎・
クラミジア肺炎・細菌性髄膜炎・マイコプラズマ肺炎・無菌性髄膜炎・
感染性胃腸炎（ロタウイルス）

疾患別・保健所別・年齢階級別集計表 11-14

〈男女合計〉

RSウイルス感染症・咽頭結膜熱・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎・感染性胃腸炎・
水痘・手足口病・伝染性紅斑・突発性発しん・ヘルパンギーナ・
流行性耳下腺炎・インフルエンザ・急性出血性結膜炎・流行性角結膜炎

定点把握対象の五類感染症

千葉県感染症天気図 2022年 第14週

上段は定点当たり報告数

定点当たり報告数=報告数/定点医療機関数

下段は報告数

定点	疾病名	流行状況	コメント	14週	13週	12週	11週	10週
小児科	小児科定点医療機関数			126	129	130	130	130
	RSウイルス感染症			0.01 1	0.00 0	0.00 0	0.01 1	0.01 1
	咽頭結膜熱			0.02 3	0.00 0	0.01 1	0.04 5	0.02 3
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎			0.10 13	0.22 28	0.13 17	0.19 25	0.10 13
	感染性胃腸炎		印旛(6.9)、船橋市(5.7)、 市原(5.3)	3.53 445	3.08 397	2.72 354	3.62 471	4.15 540
	水痘			0.05 6	0.04 5	0.02 3	0.05 6	0.05 6
	手足口病			0.02 3	0.02 2	0.04 5	0.03 4	0.01 1
	伝染性紅斑			0.01 1	0.02 2	0.01 1	0.03 4	0.01 1
	突発性発しん			0.21 27	0.26 33	0.22 29	0.24 31	0.25 32
	ヘルパンギーナ			0.00 0	0.01 1	0.01 1	0.00 0	0.00 0
	流行性耳下腺炎			0.01 1	0.03 4	0.00 0	0.03 4	0.04 5
	インフルエンザ	インフルエンザ定点医療機関数			205	208	209	207
インフルエンザ				0.00 1	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 1
眼科	眼科定点医療機関数			33	32	33	33	34
	急性出血性結膜炎			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.03 1
	流行性角結膜炎			0.09 3	0.13 4	0.03 1	0.09 3	0.15 5
基幹病院	基幹定点医療機関数			9	9	9	9	9
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0
	細菌性髄膜炎			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0
	マイコプラズマ肺炎			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.11 1	0.00 0
	無菌性髄膜炎			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.11 1	0.00 0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0
全数	風しん			0	0	0	0	0
	麻しん			0	0	0	0	0

備考

増加 やや増加 変化なし やや減少 減少

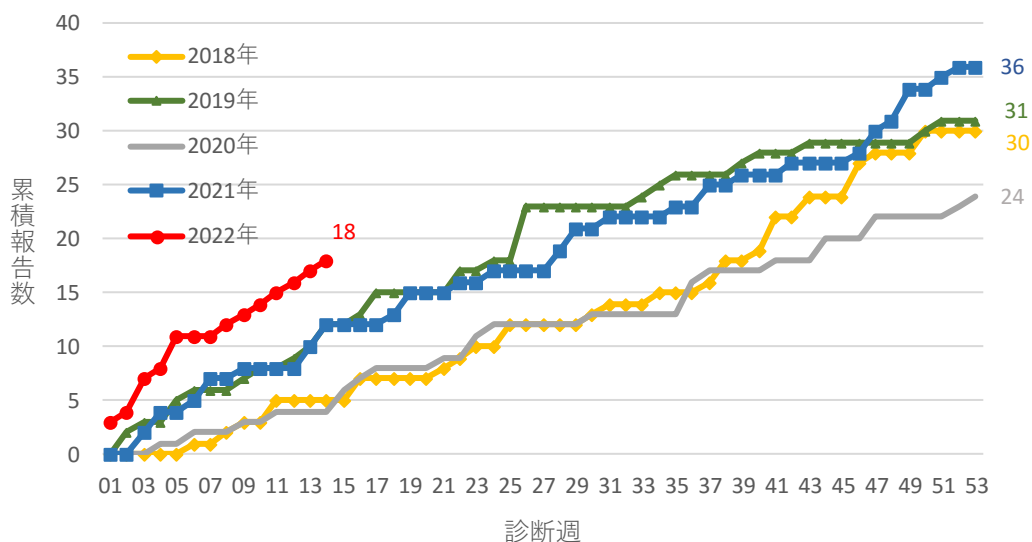
※診断日を基準とします。報告の追加、取り下げ等により、数値は今後変動することがあります。

【今週の注目疾患】

《E型肝炎》

2022年第14週に市川保健所管内からE型肝炎の報告が1例あった。第8週から毎週報告があり、増加傾向が継続している。2022年の累積報告数は18例となり、これまでに最多であった2021年の同時期の1.5倍となっており（2021年第14週累積報告数12例）、過去10年間で最多の報告数となっている（図）。

図：2018年から2022年第14週までの県内E型肝炎累積報告数（n=139）



性別では、男性が15例（83%）、女性が3例（17%）であり、男性が多かった。年代別では、男性では40代が5例（33%）と最も多く、次いで30代が3例（20%）であった。女性では50代が2例（67%）、20代が1例（33%）であった。推定される感染原因に記載があったものは5例であり、ジビエ1例、食肉（豚・牛・鳥・焼肉）3例、湧き水1例（湧き水と食肉重複1例あり）、生ガキ1例であった。そのほか13例は不明であった。

E型肝炎は、ヘペウイルス科（*Hepeviridae*）のE型肝炎ウイルス（hepatitis E virus: HEV）の感染によって引き起こされる急性肝炎である。潜伏期間は15～60日と長い。発熱、全身倦怠感、悪心、嘔吐、食欲不振、腹痛等の症状を伴い、黄疸が認められるが、不顕性感染も多い。従来は慢性化しないと考えられていたが、臓器移植患者など免疫抑制状態にある患者のHEV感染が慢性的な感染を引き起こすことがある。感染経路は、いわゆる途上国や衛生状況の悪い難民キャンプ等では患者の糞便中に排泄されたウイルスによる経口感染が主で、大規模な集団発生が報告されている。一方、日本をはじめ世界各地で、E型肝炎は人獣共通感染症として注目されている¹⁾。

ヒトに感染するHEVは、ヘペウイルス科Orthohepevirus属の4つの種のうちOrthohepevirus Aに属する。Orthohepevirus Aはさらに8種の遺伝子型（G1-G8）、36種のサブタイプに分類されている。ヒトに感染するHEVは主にG1-G4の4つの遺伝子型で、途上国で比較的大きな地域流行を起こすウイルスは主にG1である。先進国では主にG3によるE型肝炎が散発的に報告さ

れている。G3 および G4 は、ブタやイノシシに感染するため、加熱不十分なこれらの動物の内臓肉等の喫食が、国内の主な感染要因と考えられている¹⁾。

E 型肝炎の流行状況を調査するため、厚生労働省は「E 型肝炎発生時の検体の確保等について」を発出し、各自治体に患者検体の確保、もしくはウイルス解析情報の提出を依頼している²⁾。E 型肝炎は一般的に潜伏期間が長く、聞き取りによる感染源・感染経路の調査が困難である場合が多いため、事例発生時には糞便や原因と疑われる食品等の検体を確保し、分子疫学的手法を用いた解析を実施することで、集団発生の動向確認の一助とすることが可能である。過去に国内においても病原体検査によって食品の摂食と E 型肝炎の発症との直接的な関係が確認された事例の報告がある³⁾。

HEV の感染経路は経口感染であり、ウイルスに汚染された食物、水の摂取により感染することが多い。現時点で認可されているワクチンはないため、予防には手洗い、飲食物の十分な加熱が重要となる。また、E 型肝炎流行地域へ旅行する際は、清潔の保証がない飲料水（氷入り清涼飲料を含む）、貝類、果物、野菜をとらないように注意する必要がある³⁾。

平成 27 年 6 月 12 日から食品衛生法に基づいて、豚の肉や内臓を生食用として販売・提供することを禁止している。また、厚生労働省は、シカやイノシシなどの野生鳥獣の肉や内臓は生食せず、中心部まで加熱するよう呼び掛けている。特に抵抗力の弱い小児や高齢者は注意をする必要がある⁴⁾。中心部の温度が 63℃に達してから 30 分間以上、もしくは中心部の温度が 75℃に達してから 1 分間以上加熱をすると、HEV のリスク低減に一定の効果があるとされる。しかし、調理の際には、調理方法や食肉の部位、肉の厚さや大きさなどにより、中心部の温度が上昇するまでに要する加熱時間が異なることも考慮する必要がある。豚の食肉等を生で喫食しないこと、現実的な範囲におけるより高い温度で加熱することが重要である⁵⁾。

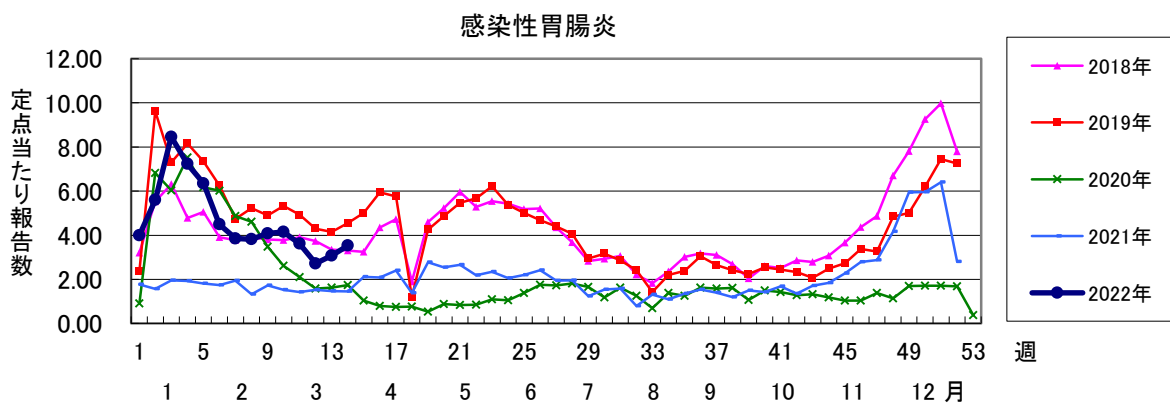
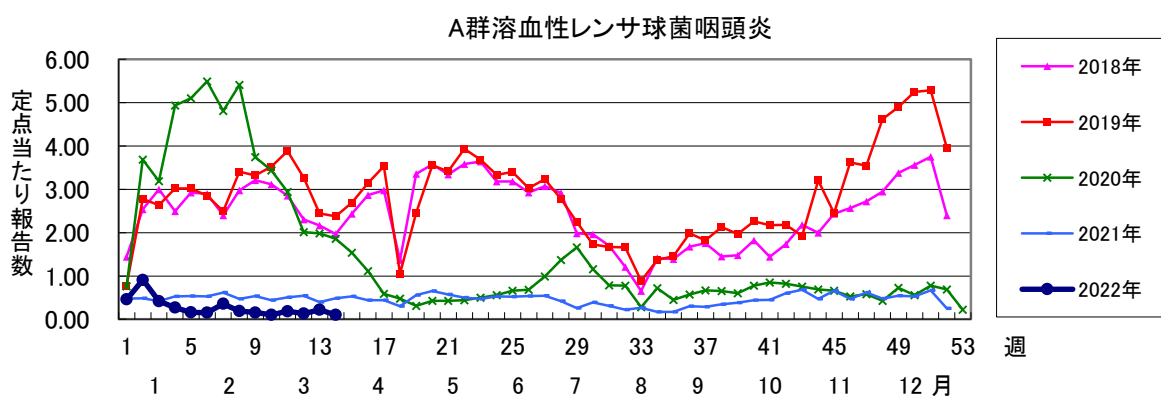
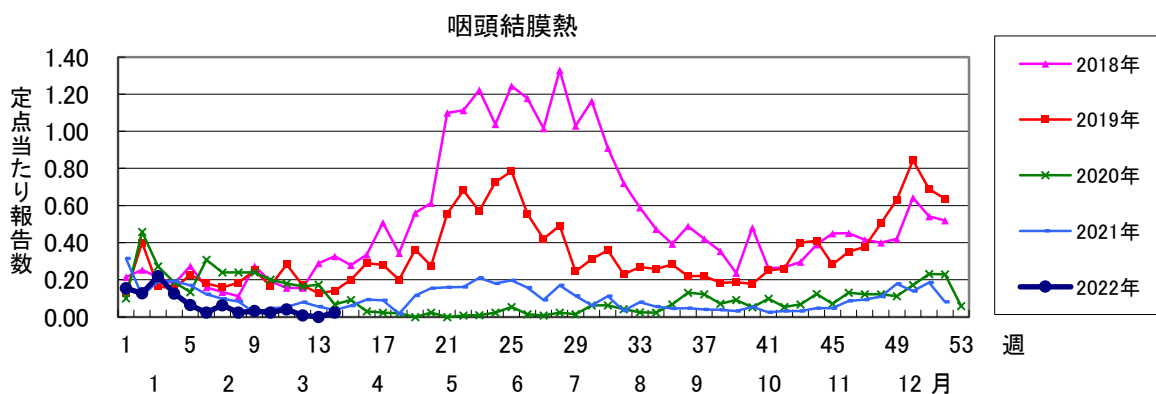
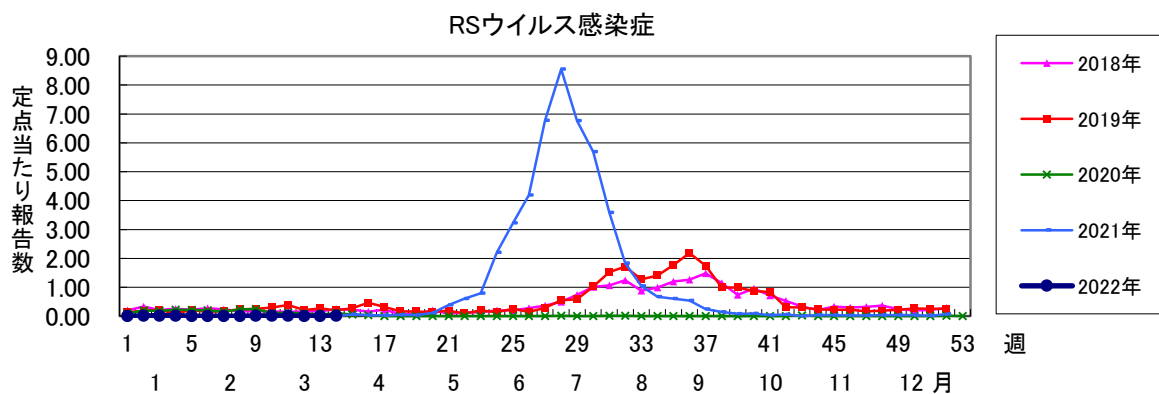
■参考

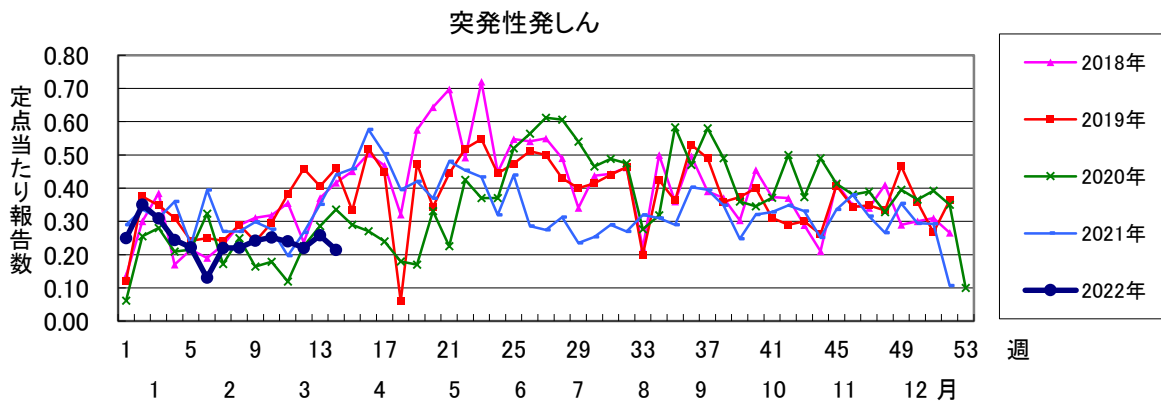
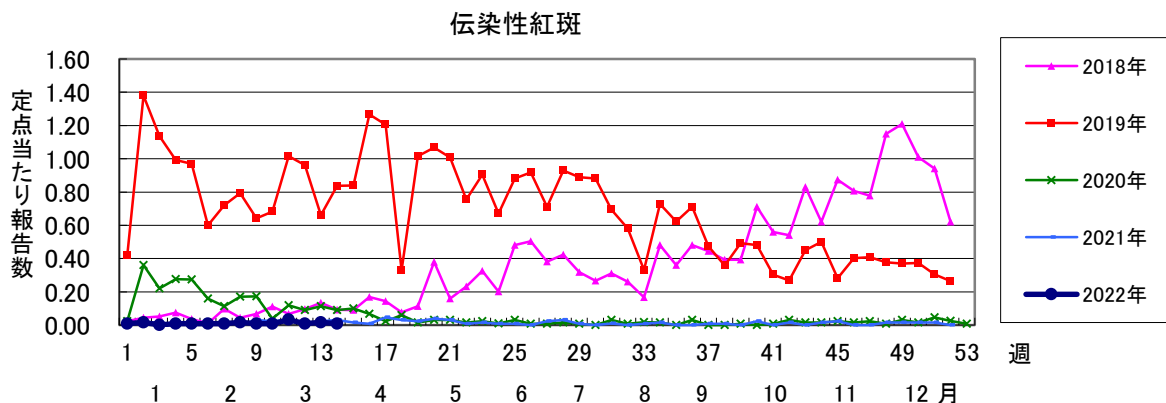
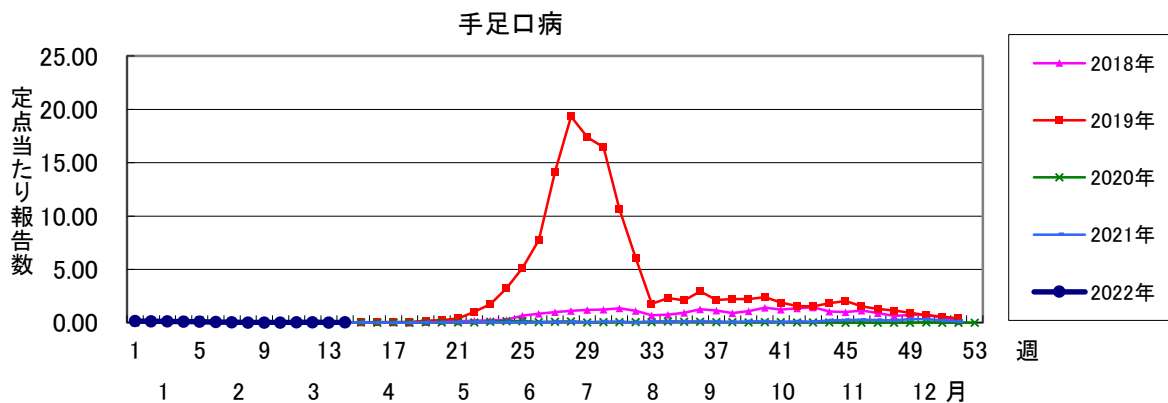
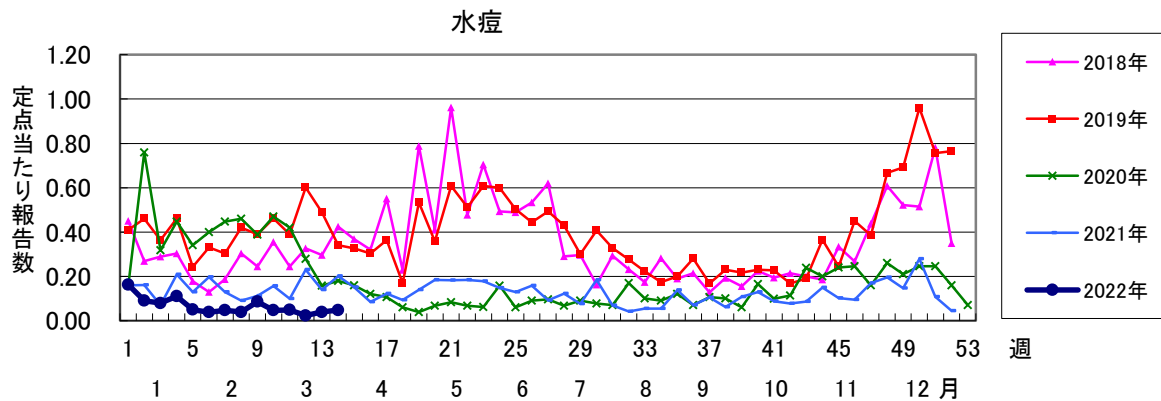
- 1) 国立感染症研究所：IASR Vol. 42 p271-272: 2021 年 12 月号
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/hepatitis-e-m/hepatitis-e-iasrtpc/10837-502t.html>
- 2) 2016（平成 28）年 8 月 16 日 健感発 0816 第 3 号 生食監発 0816 第 2 号
<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11130500-Shokuhinzenbu/0000139294.pdf>
- 3) 厚生労働省：E 型肝炎ウイルスの感染事例・E 型肝炎 Q & A
<https://www.mhlw.go.jp/houdou/2003/08/h0819-2a.html>
- 4) 厚生労働省：豚のお肉や内臓を生食するのは、やめましょう
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoushokuhin/syoushisya/121004/index.html
- 5) 厚生労働省：平成 27 年 5 月 27 日 食品衛生分科会 資料
上記 4) ホームページに掲載

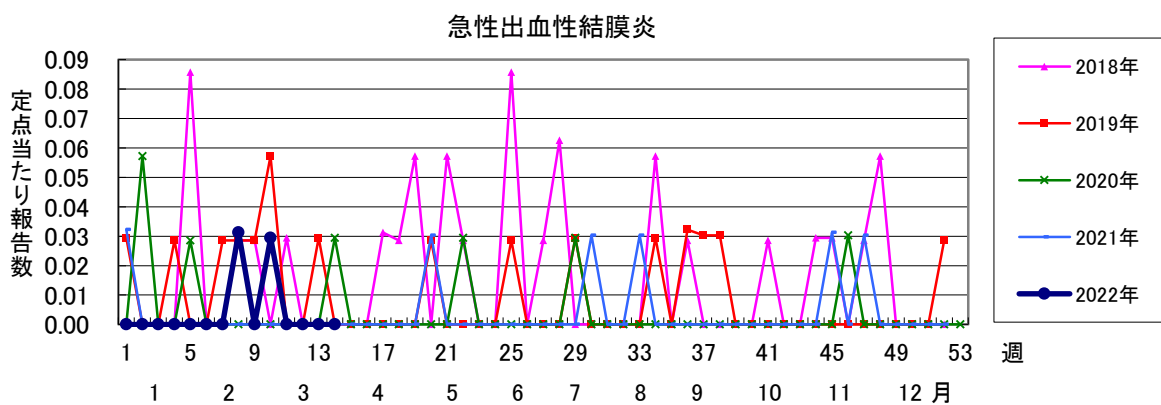
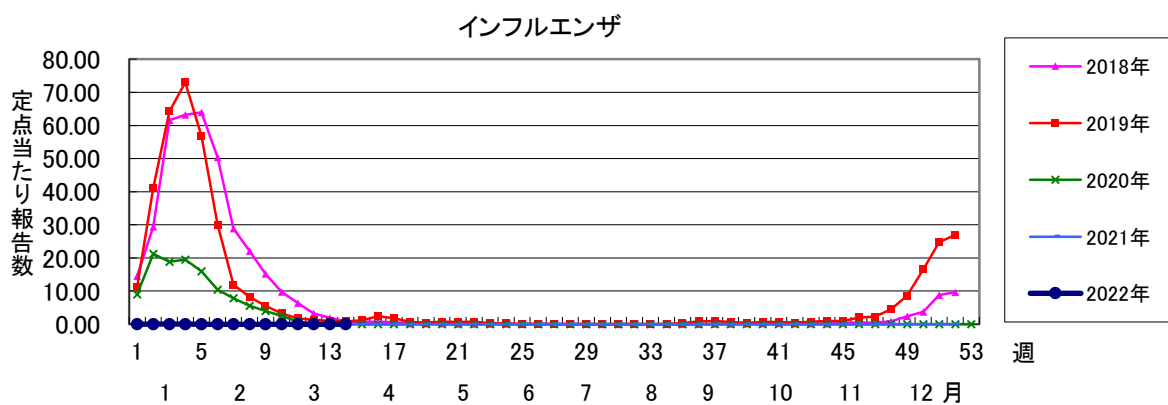
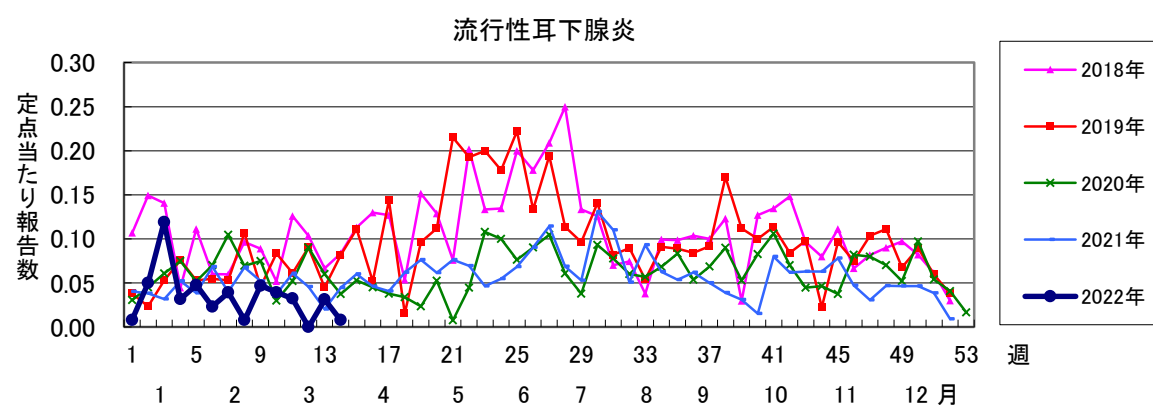
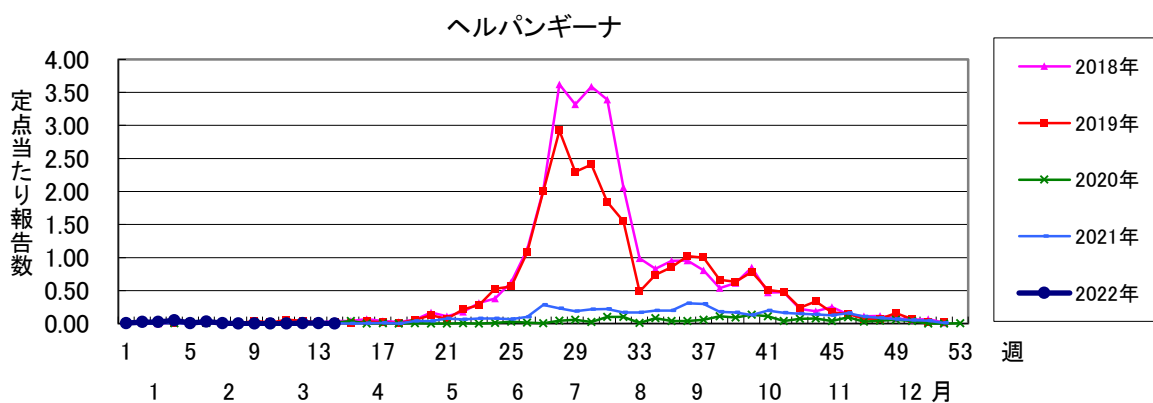
第14週全数報告疾患集計表

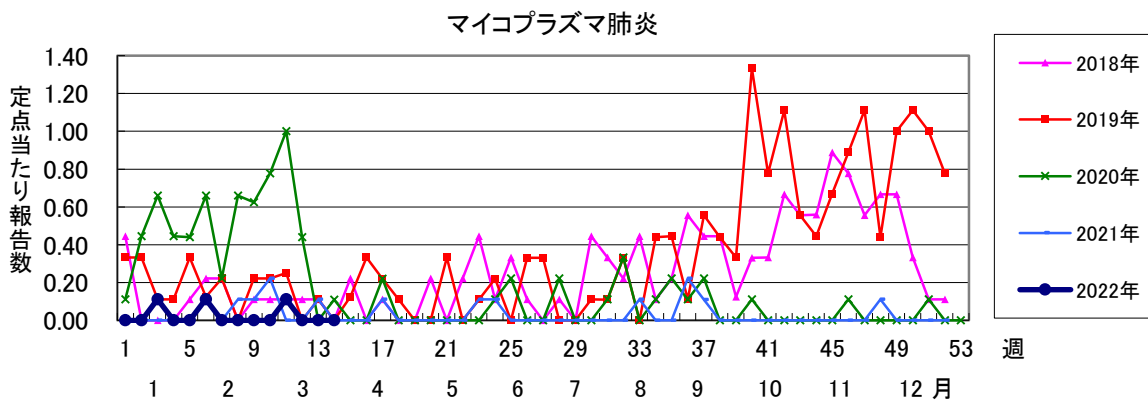
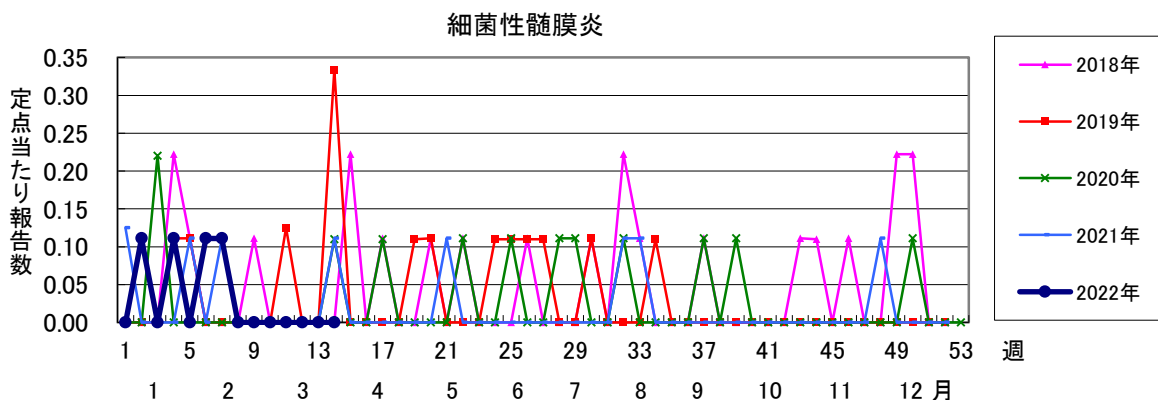
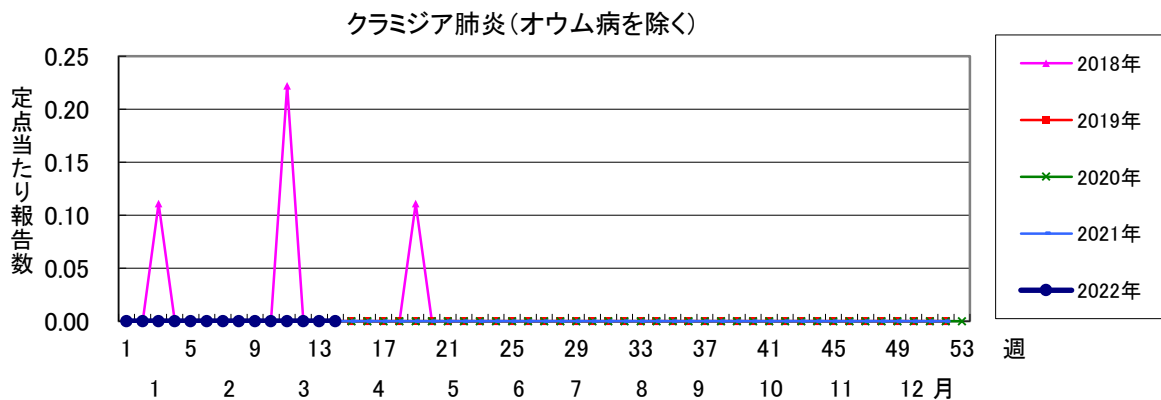
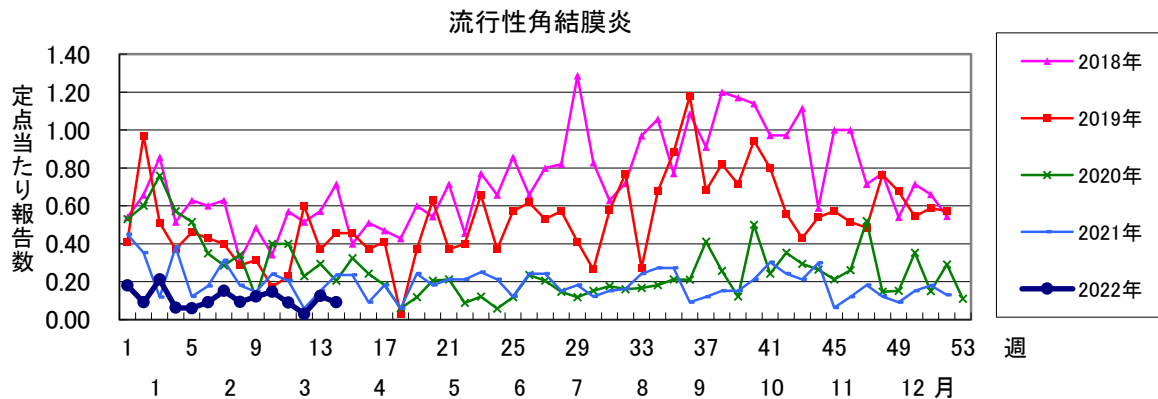
一類感染症	今週	累計(年)	四類感染症(その2)	今週	累計(年)
エボラ出血熱	0	0	日本紅斑熱	0	0
クリミア・コンゴ出血熱	0	0	日本脳炎	0	0
痘そう	0	0	ハンタウイルス肺症候群	0	0
南米出血熱	0	0	Bウイルス病	0	0
ベスト	0	0	鼻疽	0	0
マールブルグ病	0	0	ブルセラ症	0	0
ラッサ熱	0	0	ペネズエラウマ脳炎	0	0
			ヘンドラウイルス感染症	0	0
			発しんチフス	0	0
			ボツリヌス症	0	0
			マラリア	0	1
			野兔病	0	0
			ライム病	0	0
			リッサウイルス感染症	0	0
			リフトバレー熱	0	0
			類鼻疽	0	0
			レジオネラ症	0	12
			レプトスピラ症	0	0
			ロッキー山紅斑熱	0	0
二類感染症	今週	累計(年)	五類感染症(全数)	今週	累計(年)
急性灰白髄炎	0	0	アメーバ赤痢	0	2
結核	17	193	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	0	3
ジフテリア	0	0	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	10
重症急性呼吸器症候群(SARS)	0	0	急性弛緩性麻痺	0	0
中東呼吸器症候群(MERS)	0	0	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	0	4
鳥インフルエンザ(H5N1)	0	0	クリプトスポリジウム症	0	0
鳥インフルエンザ(H7N9)	0	0	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1
			劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	4
			後天性免疫不全症候群	0	7
			ジアルジア症	0	0
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0
			侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0
			侵襲性肺炎球菌感染症	1	8
			水痘(入院例)	0	1
			先天性風しん症候群	0	0
			梅毒	3	72
			播種性クリプトコックス症	0	3
			破傷風	0	1
			バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0
			バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	5
			百日咳	0	4
			風しん	0	0
			麻しん	0	0
			薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0
三類感染症	今週	累計(年)	新型インフルエンザ等感染症(その2)	今週	累計(年)
コレラ	0	0	新型インフルエンザ	0	0
細菌性赤痢	0	0	再興型インフルエンザ	0	0
腸管出血性大腸菌感染症	0	7			
腸チフス	0	0			
パラチフス	0	0			
四類感染症(その1)	今週	累計(年)	新型インフルエンザ等感染症(その1)	累計	
E型肝炎	1	18	新型コロナウイルス感染症*	387,945	
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)	0	0			
A型肝炎	0	1			
エキノコックス症	0	0			
黄熱	0	0			
オウム病	0	0			
オムスク出血熱	0	0			
回帰熱	0	0			
キャサナル森林病	0	0			
Q熱	0	0			
狂犬病	0	0			
コクシジオイデス症	0	0			
サル痘	0	0			
ジカウイルス感染症	0	0			
重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	0	0			
腎症候性出血熱	0	0			
西部ウマ脳炎	0	0			
ダニ媒介脳炎	0	0			
炭疽	0	0			
チクングニア熱	0	0			
つつが虫病	0	3			
デング熱	0	0			
東部ウマ脳炎	0	0			
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)	0	0			
ニパウイルス感染症	0	0			

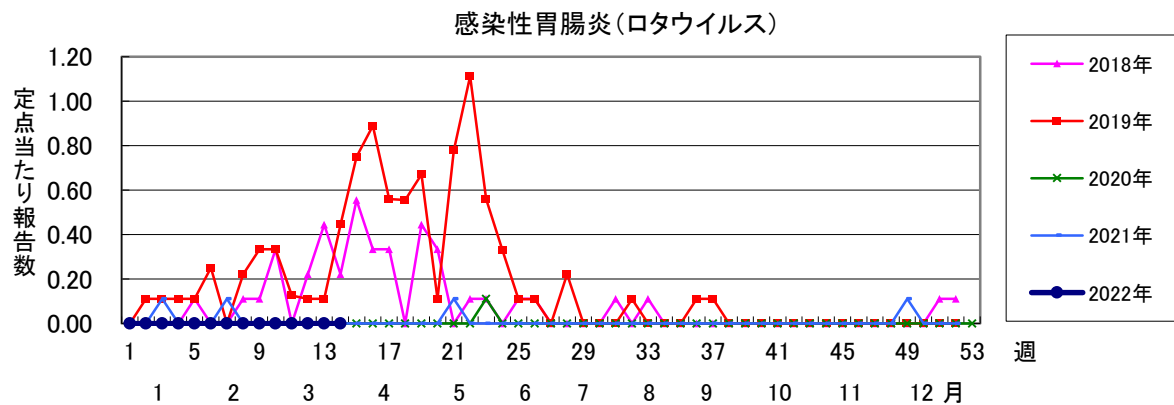
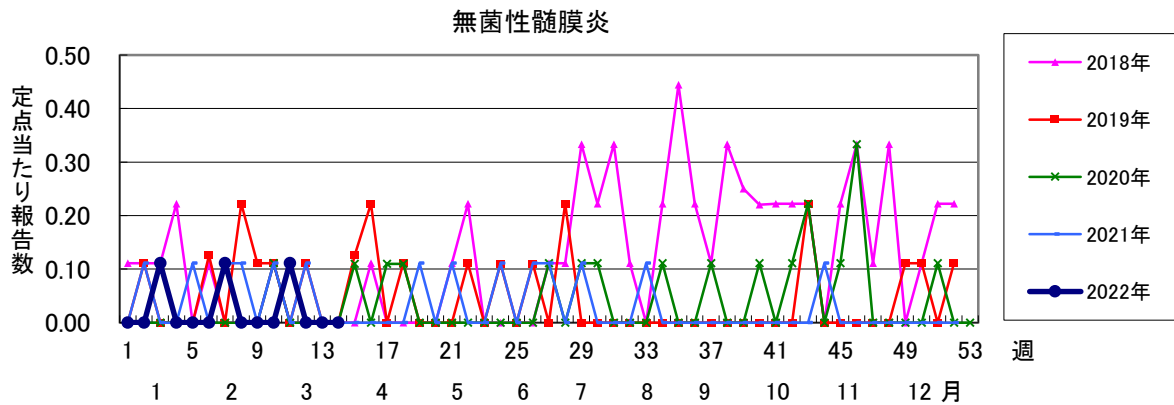
* 千葉県報道発表による(4月12日13時現在)











2022年 第14週 保健所別、年齢群別報告数(男女合計) No.1

		野	柏	松	市	船	習	千	印	香	海	山	長	夷	安	君	市	合
		田	市	戸	川	橋	志	葉	旛	取	匝	武	生	隅	房	津	原	計
小児科定点数		4	9	15	9	11	8	17	16	3	3	5	4	3	4	8	7	126
RSウイルス感染症	~5ヶ月 ~11ヶ月	1																1
	1歳																	
	2歳																	
	3歳																	
	4歳																	
	5歳																	
	6歳																	
	7歳																	
	8歳																	
	9歳																	
	10~14歳																	
	15~19歳																	
	20歳以上																	
合計		1																1
咽頭結膜熱	~5ヶ月 ~11ヶ月																	
	1歳	1																1
	2歳	1																1
	3歳																	
	4歳	1																1
	5歳																	
	6歳																	
	7歳																	
	8歳																	
	9歳																	
	10~14歳																	
	15~19歳																	
	20歳以上																	
合計		1 1																3
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	~5ヶ月 ~11ヶ月																	
	1歳	1																1
	2歳	1																1
	3歳	1																1
	4歳																	
	5歳	2																2
	6歳	1																1
	7歳	2																2
	8歳	1																2
	9歳	1																1
	10~14歳	2																2
	15~19歳																	
	20歳以上																	
合計		7																13
感染性胃腸炎	~5ヶ月 ~11ヶ月	1 4																7
	1歳	10 16 6 14 8 19 3 1 3																85
	2歳	8 7 2 10 4 12 16 2 1 2																72
	3歳	3 12 4 10 1 12 15																64
	4歳	1 3 3 9 1 10 11 2																46
	5歳	1 4 6 4 14 2 1 1																37
	6歳	1 1 4 5 2 1 1 1																18
	7歳	1 1 1 1 1 1 6																13
	8歳	2 1 1 2																8
	9歳	1 3 3 1 1																9
	10~14歳	3 2 1 4 3 6 1 1 1																23
	15~19歳	1																2
	20歳以上	1 2 3 1 1 5 11 4 1 1 3																43
合計		2 35 55 15 63 8 68 111 10 11 8 10																445

2022年 第14週

保健所別、年齢群別報告数(男女合計)

No.2

		野	柏	松	市	船	習	千	印	香	海	山	長	夷	安	君	市	合
		田	市	戸	川	橋	志	葉	旛	取	匝	武	生	隅	房	津	原	計
小児科定点数		4	9	15	9	11	8	17	16	3	3	5	4	3	4	8	7	126
水痘	～5ヶ月 ～11ヶ月											1						1
	1歳																	
	2歳																	
	3歳																	
	4歳				1													1
	5歳																	
	6歳																	
	7歳																	
	8歳																	
	9歳																	
10～14歳									1		1						2	
15～19歳									1									1
20歳以上								1										1
合計					1			1	1	1	2							6
手足口病	～5ヶ月 ～11ヶ月																	
	1歳								1									1
	2歳															1		1
	3歳																	
	4歳																	
	5歳																	
	6歳				1													1
	7歳																	
	8歳																	
	9歳																	
10～14歳																		
15～19歳																		
20歳以上																		
合計					1				1							1		3
伝染性紅斑	～5ヶ月 ～11ヶ月																	
	1歳																	
	2歳																	
	3歳																	
	4歳																	
	5歳																	
	6歳		1															1
	7歳																	
	8歳																	
	9歳																	
10～14歳																		
15～19歳																		
20歳以上																		
合計		1																1
突発性発しん	～5ヶ月 ～11ヶ月	1		1	1			2	2			1				2		10
	1歳			1		1	1	4	2	1							1	11
	2歳					1		1				1					1	4
	3歳						1											1
	4歳								1									1
	5歳																	
	6歳																	
	7歳																	
	8歳																	
	9歳																	
10～14歳																		
15～19歳																		
20歳以上																		
合計	1		2	1	2	2	7	5	1		2				2	2		27

2022年 第14週

保健所別、年齢群別報告数(男女合計)

No.3

		野	柏	松	市	船	習	千	印	香	海	山	長	夷	安	君	市	合
		田	市	戸	川	橋	志	葉	旛	取	匝	武	生	隅	房	津	原	計
小児科定点数		4	9	15	9	11	8	17	16	3	3	5	4	3	4	8	7	126
ヘルパンギーナ	～5ヶ月																	
	～11ヶ月																	
	1歳																	
	2歳																	
	3歳																	
	4歳																	
	5歳																	
	6歳																	
	7歳																	
	8歳																	
	9歳																	
	10～14歳																	
15～19歳																		
20歳以上																		
合計																		
流行性耳下腺炎	～5ヶ月																	
	～11ヶ月																	
	1歳																	
	2歳																	
	3歳																	
	4歳																	
	5歳																	
	6歳																	
	7歳																1	
	8歳																	
	9歳																	
	10～14歳																	
15～19歳																		
20歳以上																		
合計																	1	

2022年 第14週

保健所別、年齢群別報告数(男女合計)

No.4

		野	柏	松	市	船	習	千	印	香	海	山	長	夷	安	君	市	合	
		田	市	戸	川	橋	志	葉	旛	取	匝	武	生	隅	房	津	原	計	
インフル定点数		7	14	24	15	17	14	27	24	6	6	8	7	5	7	13	11	205	
インフル エンザ	～5ヶ月 ～11ヶ月																		
	1歳																		
	2歳																		
	3歳																		
	4歳																		
	5歳																		
	6歳																		
	7歳																		
	8歳																		
	9歳																		
	10～14歳																		
	15～19歳																		
	20～29歳																		
	30～39歳												1						1
40～49歳																			
50～59歳																			
60～69歳																			
70～79歳																			
80歳以上																			
合計												1						1	
眼科 定点数		1	2	5	2	3	2	5	4	1	1	1	1		1	2	2	33	
急性出 血性 結膜 炎	～5ヶ月 ～11ヶ月																		
	1歳																		
	2歳																		
	3歳																		
	4歳																		
	5歳																		
	6歳																		
	7歳																		
	8歳																		
	9歳																		
	10～14歳																		
	15～19歳																		
	20～29歳																		
	30～39歳																		
40～49歳																			
50～59歳																			
60～69歳																			
70歳以上																			
合計																			
流行性 角結 膜炎	～5ヶ月 ～11ヶ月																		
	1歳																		
	2歳																		
	3歳																		
	4歳																		
	5歳																		
	6歳																		
	7歳																		
	8歳																		
	9歳																		
10～14歳																			
15～19歳																			
20～29歳							1											1	
30～39歳																			
40～49歳																		1	
50～59歳																		1	
60～69歳																			
70歳以上																			
合計							1											3	

※ 千葉県の感染症情報は、千葉県感染症情報センターのホームページを御覧ください。

URL. <https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/index.html>

※ 全国の感染症情報(IDWR)は、国立感染症研究所感染症疫学センターのホームページを御覧ください。

URL. <https://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

千葉県結核・感染症週報 2022年 第14週

発行 千葉県衛生研究所
千葉県健康福祉部
千葉県医師会
事務局 千葉県衛生研究所感染疫学研究室内
千葉県感染症情報センター
〒260-8715 千葉市中央区仁戸名町 666-2
TEL. 043(266)6723 FAX. 043(265)5544

本週報は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づくものであり、千葉県内の医療従事者、定点医療機関、県及び千葉市保健所の皆様の御協力を得て、千葉県衛生研究所感染疫学研究室内の千葉県感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査などの結果に応じて、若干の変更が生ずることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。